



いいたて 議会だより

令和2年12月定例会
No.
89
2021.2.20

発行：福島県飯舘村議会
編集：議会広報編集特別委員会



1月20日まで行われていた商工会青年部によるイルミネーション
～ litate Lumiere Road 2020～

議案審議「ザ・議論」 2

第9回臨時会、第10回定例会の質疑を掲載

一般質問「村政ここが聞きたい!!」 3～11

「今後の村政運営について」など、8議員から質問

審議結果 12～13

議会の動き・常任委員会活動・編集後記 14

ザ・議論

第9回臨時会では予算案件1件、条例案件1件、承認1件、計3件が審議され、第10回定例会では、予算案件6件、条例案件3件、契約案件5件、人事案件1件、その他4件、計19件の審議及び議論が交わされました。その議論の一部を紹介します。

第9回臨時会

(補正予算)

質問 新型コロナウイルス感染症の影響による、村内の方々の雇い止めや解雇等の状況は把握しているのか。

答弁 報道等では聞いています。村民の方々には多少の影響はあると思われますが、そのような状況は把握しておりません。

質問 新型コロナ対策交付金1人1万円はどうのように周知するのか。

答弁 12月1日を基準日とし、12月1日までに飯館村に住民登録された方で、特別定額給付金1人10万円を振り込ませていただいた時と同様に、世帯主の方に1回目と同じ口座でよいか確認の通知をさせていただき、確認でき次第、年内にお支払いさせていただきます。

第10回定例会

(補正予算)

質問 総務管理費の手数料300万円の計上について。

答弁 現在、川俣町の小学校、飯野町の給食センター跡地を売りに出しておりますが、不動産業者に、売買成立した時の仲介手数料としてお支払いするものです。売買契約額に対して約3%が一般的な仲介手数料となっています。

質問 除雪路線はどのように変更されたのか。

答弁 除雪路線1次、2次路線に関しては、現在、住宅が無いなど色々ありますが、震災当時と同じような形で行なっています。業者については、当初行政区委託等で行っていた部分がありましたが、現在は全部業者委託で進めております。

質問 復興震災記録施設の備品について、1

700万円の補正予算となっているが、どのようなものを購入するのか。

答弁 この基準値を下回るようフィルターを設置し、アフターフォローの部分で保障期間内はこの数値が以下になるようにチェックしていただきます。

なお、補償期間については、通常1年間とみています。

高い数値を示し、汚濁が6倍程度強いという

ことで、この装置を設置するとあるが、これで解消できるのか。

質問 職員の給与に関する条例の一部改正について

答弁 村の復興創生業務が多様化しており、国や県との緻密な連携が極めて重要な状況を鑑み、各課を統合するとともに府内横断的な施策を調整し、村長及び副村長の業務を補佐するため、当該職務を設置したいと考えております。設置することにより、村民の方々にもきめ細かな施策についての対応ができるいくものと思われます。



▲改修中の復興震災記録施設

小滝大倉線道路災害復旧工事請負工事契約変更について

質問

佐須から大倉に抜ける佐須大倉線、小

滝大倉線の災害復旧工事の状況と見通しは。

答弁 昨年の台風により、甚大な被害を受けております。工期は3月25日まで延長させていただき、一番大きく崩れた大倉の部分は残りますが、ほぼ全ての

伊丹沢西エリア内用牛用施設請負契約変更について

質問

水質検査のデー

タで鉄が6倍・マンガンが15倍と基準値より

工事が完了する見込みです。残る大倉の部分は単年度での工事は困難な為、来年度も通行止めの形で進めざるを得ない状況です。

(条例改正)

質問 職員の給与に関する条例の一部改正について

答弁 村の復興創生業務が多様化しており、国や県との緻密な連携が極めて重要な状況を鑑み、各課を統合するとともに府内横断的な施策を調整し、村長及び副村長の業務を補佐するため、当該職務を設置したいと考えております。設置することにより、村民の方々にもきめ細かな施策についての対応ができるいくものと思われます。

ズバリ！村政 ここが ききたい!!

一般質問 Q & A

12月定例議会の一般質問には8議員が登壇し、村行政の考え方や対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載しています。

長谷川芳博 議員 P8	1 農地の集約化について 2 村内の商店（スーパー）の出店要請について	佐藤八郎 議員 P7	1 生活環境について 2 村民への生活支援について 3 行政執行のあり方について	高橋孝雄 議員 P6	1 国道399号線の早期改良について 2 4級、5級村道整備について 3 国及び県管理河川の土砂撤去について	相良 弘 議員 P5	1 今後の村政について 2 バランスシート作成について	渡邊 計 議員 P4	1 これまでの政策と今後の政策に関する 2 これまでの政策と今後の政策について
長正利一 議員 P11	1 村政運営について 2 インフラ整備について 3 確定申告について	佐藤健太 議員 P10	1 「まちこどり」について 2 農林商工業の振興発展について 3 SDGs（持続可能な開発目標）について 4 飯館高について 5 村内の環境整備について 6 ふるさと納税について 7 ふるさと納税について	高橋和幸 議員 P9	1 観光業を整備した早急なる地方創生について 2 G-I-GAスクール構想について 3 自治体のSDGs活用戦略について 4 帰還困難区域内外の解除に向けた在り方について 5 行政区について 6 村長の政治姿勢について				

質問解除要件及び見

長泥地区について

名畠村長とお話をさせていただく中で、いろいろな可能性を否定せず前向きに検討していくたいと考えております。

令和3年度予算について

展開に必要な予算編成。

三月には新たな指

二点目は 無駄を徹底的に省き、復興事業、自治業務の効率化、統廃合を含めた総合的な見直しを図ること。

行政区に周知してまい

答弁 木質バイオマス
施設を整備することに

答弁 木質バイオマス

質問 蕨平のバイオマス 事業について どのように考え ます

質 6町村協議会への復帰について

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie, speaking into a microphone.

質問 令和3年度予算はどこに重点を置いた編成になるのか伺う。

四点目は、新型コロナウイルス禍に対応した予算編成。

質問 現状と今後の対策について伺う。

より、森林資源の活性化と森林再生の環境改善、雇用の創出が期待できます。また、将来的には熱を利用した新たな農業展開と特產品づくりにも期待できるものと考えております。



佐藤 八郎 議員

質 放射線とは、買い物は、賠償は

**答 村民の声、願いに応えられる
よう努力していく**

質問 村が所有するシンチレータ等で特定可能なものは、セシウム、ヨウ素に限定とあるが、村内全域に降散された物はストロンチウムからテルルまで31種であり、放出されるアルファ線、ベータ線は身体に影響しないのか。村長は専門的知識を持つていますので、生活する中で核種別に身体への影響と放射線防護の3原則を厳守する事をき

ちんと整理されて村民に示すべきである。

答弁 放射線を発生する線源、各放射性物質がどこにあるか認識が大切です。しかし、どこにどれだけあるのかを全て認識するのは非常に困難でありますので、外部被ばくの放射線防護の3原則、時間や遮蔽、距離などを認識することによって自分でしっかりと管理することができるのではないかと放送する事を見ています。

いかと思います。アルファ線源のように紙一枚、皮膚1枚で止まる線源であっても、外に持ち出すことで内部被ばくにつながるため、持ち出さないようにタバコグスクを着るなど、線源ごとに対策は異なるため、それをすべて村民にお伝えするのは非常に難しいと思っております。3原則に限定してでもその基礎知識をもち、放射線源があることを意識しながら生活をすることも必要だと考えております。

質問 食べ物、飲み物の国基準は原発事故前と事故後で変わっているが、東京新聞で報道されているように、村内の山菜、きのこは村でお知らせしているように「村内でそれきのこや山菜は売買しない」「労働の際には山の中に何時間以上いないうように」としている。

今後の計測についても定期的に実現するべきである。

答弁 現在は、當農再開見込みのあるところの土壤検査、牧草を含めたモニタリング検査と食品のモニタリング検査を実施しています。村全体の土壤検査が村民の方にとって有用な情報となるのか、除染が進んだり、獣害により、放射性物質が表土から移動しているといふ状況で、土壤の検査が生活に活かされるような情報になるかどうかは別の問題だらうと考えます。

今後も営農再開等のために必要なところは積極的に土壤検査を行っていきます。

村民の生活支援について

ていきたいと考えております。

質問 村の大地全体の土壤調査を行うべきだ。前にガンマ線による計測実績もあるので、加害者がお金を出して

枚、皮膚1枚で止まる線源であっても、外に持ち出すことで内部被ばくにつながるため、

イバツクスを着るなど、線源ごとに対策は異なるため、それをすべて村民にお伝えするのは非常に難しいと思っております。3原則に限定してでもその基礎知識をもち、放射線源があることを意識しながら生活をすることも必要だと考えております。

答弁 現在は、當農再開見込みのあるところの土壤検査、牧草を含めたモニタリング検査と食品のモニタリング検査を実施しています。村全体の土壤検査が村民の方にとって有用な情報となるのか、除染が進んだり、獣害により、放射性物質が表土から移動しているといふ状況で、土壤の検査が生活に活かされるような情報になるかどうかは別の問題だらうと考えます。

今後も営農再開等のために必要なところは積極的に土壤検査を行っていきます。

東京電力に賠償を請求する権利があるので、村としても全村民に関わる部分については、今後もしっかりと対応し

ます。

前と事故後で変わっているが、東京新聞で報道されているように、村内の山菜、きのこは村でお知らせしているように「村内でそれきのこや山菜は売買しない」「労働の際には山の中に何時間以上いないうように」としている。

質問 食べ物、飲み物の国基準は原発事故前と事故後で変わっているが、東京新聞で報道されているように、村内の山菜、きのこは村でお知らせしているように「村内でそれきのこや山菜は売買しない」「労働の際には山の中に何時間以上いないうように」としている。

今後も営農再開等のために必要なところは積極的に土壤検査を行っていきます。





長谷川 芳博 議員

スーパー等の誘致について

引き続き関係機関との協議・検討して参ります。

答弁 アウトレットモールということでお、非常に具体的なご提案をいたしましたところではあります。が、飯館村を

取り巻く環境は、常磐道等のインター・チエンジが近くにできたり、1時間圏内でかなり交通の便が良い環境が整つてきており、従来の位置づけとはまた違う将来像もあり得るだろ

うと考えております。

質問 既に、村内へ移動販売業者が来ているのは承知しているが、

そのアウトレットモール内に村の農作物や特

産品の販売も行う、スーパーのようなものも入

いるのかを伺う。

質問 山際や小区画不整備農地を基盤整備し、利用しやすい農地としてはどうか。

答弁 現在、村内において、移動販売2社、宅配サービス1社による営業が行われております。スーパー等の誘致につきましては、以前より整備を求める声が寄せられており、商

工会と協議し、共同店舗の開設やスーパーの誘致に努めてきたところですが、帰還者が2割と少なく採算が成り立たないとのことで開

店に至らなかつた経緯もあります。

答弁 片や、飯館村の開けたところはほとんど農

地でありますので、農地としての利用を優先

させていただきたいと考

えております。

質 農地の集約化・中山間農地の今後の活用は

答 担い手不足や遊休農地の解消につながる取組を検討していきます

質問 すでに数名の法人経営体が大規模営農

を始めていますが、もともと条件のよい農地の集積はしやすい。

しかし、今後力を入れていかなければなら

ないのはそういう土地

よりも、貸したいが借り手がない、小さな

畑や田んぼ、山際の条件の悪い土地かと考える。

そのような条件不利

長泥行政区を除く18行

地の活用をどのように考

えているのか。

答弁 平成29年度から、行政区ごとに将来の営農再開、農地集積に向

け話し合いを進めて参

りました。その結果をも

とに、用排水路や暗渠

等の整備を行うと共に、令和元年度からは意欲

ある担い手への農地集積を進めております。

なお、これまで蕨平、

そのような条件不利

の条件不利地については施設園芸や花卉栽培などの畠地作物であれば導入しやすいの

よくな条件不利地につ

いては施設園芸や花卉栽培などの畠地作物で

あれば導入しやすいの

ではないかと考えてお

ります。現在、そういう

た農家のやる気のある

方々につきましては、

當農再開支援事業やな

りわい農業、そういういつたものを活用していた

だき、多くの皆様に農

地の活用を図っていた



▲人が集まるアウトレットモール

だきたいと考えております。

質問 食料品や日用品など

が購入できる店舗の整備を要望される声は多く聞いておりますので、

お聞きします。

片や、飯館村の開けたところはほとんど農

地でありますので、農地としての利用を優先

させていただきたいと考

えております。



佐藤 健太 議員

補助金を活用し施設の運営を行なっており、国の支援がなければ赤字経営となつて、います。

質問 「きこり」に入つてすぐ右側の食堂のス

質 令和3年度の当初予算編成方針及び基本的事項と、重点項目について伺う

答 重要視点としては、コスト・経費をかけるから、プロフィット・利益を生み出す姿勢への転換や、村民に任せた業務、事業、行政区委託事業等の検討、ふるさとに愛着が持てる事業への転換としている

かわらの運営
つづり

質問

質問 「きこり」の運営状況と今後の方針について伺う。

答弁 昨年度の営業収入は1289万100円、営業外収入は

3520万6000円
で、合計4809万7
000円となつていま
す。人件費や施設維
持経費等の支出額は
4794万5000円
となつており收支上は
黒字ですが、震災以降、
営業外収入として国の

は管理人さんが24時間
いらっしゃいますので、
そこでスポーツジム機
能が使えるというのは、
利用者としても非常に
安心感があるし良いの
ではないかと考えるが
如何か。

村内の環境整備について

はご指摘のとおりであります。

A black and white photograph of a modern interior space. The room has a high ceiling with a recessed grid and a central chandelier. A large window on the left looks out onto a bright exterior. In the foreground, a dark armchair sits on a polished floor. The overall aesthetic is minimalist and spacious.

答弁 全村避難により、村民による桜の管理ができなかつたことから、「てんぐ巣病」が増え、桜の開花時期に日立つようになつてゐることはご指摘のとおりであります。

のままでは「てんぐ单病」が広がってしまい、枯れてしまうおそれがある。早急に手立てを考える必要がある。村の見解と同り。

また、避難指示解除後も多くの桜が植樹をされておりますが、こ

付かずであつた為か、
村内の多くの桜の木に
「てんぐ巣病」がついて
しまつてゐるが、まつた
く手入れがされていな

▲てんぐ巣病の発生した桜

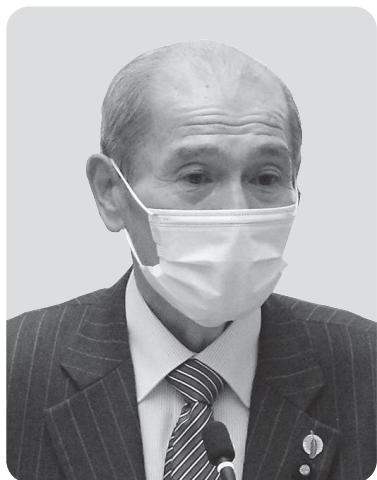
見つけた際ご連絡を
去作業を行つていただき
くなどの対応を考えて
おります。

村としては、ふだん
から桜を身近に親しん
でいる地域の方々に、
見つけ次第二度の二会

維持、保全管理も必要になります。

組むには、多年度にわたりの対策が必要であり、同時にその後の

継続した除去作業が必要になつてくるようになります。このことから、村内にあら「てんぐ巣病」にかかる桜の整備に取り



長正 利一 議員

質 これからの村政運営について

答 明日が待ち遠しくなるようなワクワクする楽しいふるさとづくりを目指す

質問 これから約4年間、どのような村づくりを進めていくのか伺う。

答弁 私たちが目指すものの原動力は、震災から立ち上がりうとする村民にあり、また、村を想い、村とうながつて様々な立場で協力をいただいている、あるいはいたたく方々の苦みにあります。このようないたぐりながら、明確な「ふるさとの担い手」が主役であり、また、

プレイヤーでもある施策を開拓していきたいと考えています。また、産業の再生と発展、健康と生活環境整備、情報通信技術（ICT）の活用、ふるさと資源の最大限の活用、生き

くりの5つの方針のもと、第6次総合振興計画など諸計画との整合

と解説していきます。

インフラ整備について

質問 生鮮食料品を購入できる店舗が無く、隣接する町への買出し

を要し、不便な生活を強いられているが、今後どのように対応を講ずるのか伺う。

答弁 不便であるといふ村民の声は以前よりいただいており、商工会など関係機関と協議し、

共同店舗の開設やスーパー等の誘致に努めてきたが、経営的に厳しい理由から開店に

じめとする「ふるさと担当の手」の皆様の声やご意見を伺いながら、また議会の皆様からのご指導をいただき、県・関係機関と緊密に連携し、課題を一つひとつ解決していきます。

270名のご利用があり、村民の皆様の買い物支援の足として重要な役割を担っていると考へております。

今後も、生活の利便性向上に係る施策は総合的な検討が必要であることから、関係機関並びに村民の皆様の声を聞きながら検討してまいります。

帰還困難区域の避難解除について

質問 予定通り復興拠

点区域外も含めて避難指示を解除するのか伺う。

答弁 長泥地区の特定

は至らなかつた経過があります。引き続き関係機関と協議しながら、より解除の判断がされるものと考えております。1つ目は空間線量

率で推定された年間積算線量20ミリシーベルト以下になることが確定であること。2つ目は子どもの生活環境を中心とする除染作業が十分に進捗し、日常生活に必要なインフラや医療・介護・郵便などの生活関連サービスが概ね復旧していること。

質問 令和5年春を目指し、今後、住民、村議会と、解除に向けた協議・検討をしてまいります。

区域外の避難解除につ

いては、先に避難指示が解除された他の区域と同じく3つの要件により解除の判断がされるものと考えております。1つ目は空間線量率で推定された年間積算線量20ミリシーベルト以下になることが確定はできないのか伺う。

数回程度、日曜日に設定はできないのか伺う。

は、新型コロナウイルス感染症予防対策を行なったまま、来年は、新たな対策を行なうが、内容を精査し、長泥地区住民の意見をよく聞いたうえ、議会とも相談して参ります。

確定申告について

質問 共働き世帯が多い中、仕事を休んで申告へ行くのは大変だ。

定はできないのか伺う。

答弁 来年の納税相談は、新型コロナウイルス感染症予防対策を行なったまま、来年は、新たな対策を行なうが、内容を精査し、長泥地区住民の意見をよく聞いたうえ、議会とも相談して参ります。

は、新たな対策を行なうが、内容を精査し、長泥地区住民の意見をよく聞いたうえ、議会とも相談して参ります。

審議結果

令和2年第9回臨時会（11月）では予算案件1件、条例案件1件、承認1件が提案され、議決されました。

議題は下記の通りです。

○議案第116号 令和2年度飯館村一般会計補正予算(第8号)

新型コロナウィルス感染予防衛生資材等購入等として、5,421万円を増額し、総額を149億2,021万3千円とする。

○議案第117号 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

国の人事院勧告による給与改定。

○承認第2号 専決処分の承認について

専決第3号 令和2年度飯館村一般会計補正予算(第7号)
村議会議員補欠選挙費439万6千円の補正。

令和2年第10回定例会（12月）では予算案件6件、条例案件3件、その他案件7件、発議2件、請願1件が提案され、議決されました。

議題は下記の通りです。（○は可否の表決議案です。）

○議案第118号 令和2年度飯館村一般会計補正予算(第9号)

既定予算総額に、1億8,617万3千円を増額し、総額を151億638万6千円とする。

○議案第119号 令和2年度飯館村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

既定予算総額に、253万4千円を増額し、総額を12億3,989万8千円とする。

○議案第120号 令和2年度飯館村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

既定予算総額に、75万6千円を増額し、総額を4億3,642万8千円とする。

○議案第121号 令和2年度飯館村農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

既定予算総額に、65万9千円を増額し、総額を4,832万2千円とする。

○議案第122号 令和2年度飯館村介護保険特別会計補正予算(第3号)

既定予算総額に、411万円を増額し、総額を11億9,681万6千円とする。

○議案第123号 令和2年度飯館村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

既定予算総額に、4万7千円を増額し、総額を7,390万7千円とする。

○議案第124号 飯館村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険の軽減判定所得の算定において、基礎控除額相当分の基準額を33万円から43万円に引き上げるなどするものです。

○議案第125号 飯館村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正により、還付加算金の引き下げや語句の整理等を行うもの。

○議案第126号 村道路線の認定について

道の駅の東側及び西側、飯樋字大西地内に整備した道路を村道として認めるもの。

- 議案第127号 被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用施設等整備工事
 (伊丹沢西エリア肉用牛用施設)請負契約の変更について
 株式会社 アシストジャパンと412万9,400円増額し、総額2億1,418万7,600円に変更する。
- 議案第128号 被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用施設等整備工事
 (伊丹沢南エリア肉用牛用施設)請負契約の変更について
 株式会社 アシストジャパンと552万7,500円増額し、総額2億5,852万7,500円に変更する。
- 議案第129号 令和元年度 災第910号 小瀧大倉線道路災害復旧工事請負契約の変更について
 後藤建設工業株式会社と161万5,900円増額し、総額8,873万5,900円に変更する。
- 議案第130号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事請負契約の変更について
 株式会社小野中村と1,634万7,100円増額し、総額1億1,424万7,100円に変更する。
- 議案第131号 福島再生加速化交付金事業 飯館村簡易水道監視設備等整備工事請負契約の変更について
 荘原実業株式会社東北営業所と85万8,000円増額し、総額4億2,551万3,000円に変更する。
- 追加議案第132号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 各課を統括・調整し、村長・副村長の補佐をするため、「統括参事」を設置する。
- 追加議案第133号 副村長の選任について
 現建設課長、高橋祐一氏を任命、今年度は建設課長を兼務する。
- 発議第1号 原賠時効特例法の消滅時効終期の再延長を求める意見書
- 発議第2号 原子力損害賠償紛争審査会による中間指針の見直しを求める意見書
- 請願第2号 復興アドバイザー 田中俊一解任の請願【不採択とすべきもの】

○の表決の結果

議案名	議員氏名	長谷川芳博	佐藤健太	長正利一	佐藤一郎	高橋孝雄	高橋和幸	渡邊計	佐藤八郎	相良弘	賛成	反対	議決結果
発議 第 1 号		○	○	×	×	×	○	○	○	×	5	4	可 決
発議 第 2 号		○	○	×	×	×	○	○	○	×	5	4	可 決
請願 第 2 号 【委員長報告は不採択とすべきもの】		○	○	○	○	○	○	×	×	○	7	2	可 決 【不採択とすべきものに決定】

○は賛成、×は反対を表しています。

議会の主な動き（10～12月）

8日	10月	・福島県町村議会議員研修会
10日	11月	・総務文教常任委員会 ・総務文教常任委員会 所管事務調査
11日	11月	・産業厚生常任委員会 所管事務調査
29日	12月	・議会運営委員会 ・全員協議会 ・第9回臨時会 （本会議）
8日	12月	・議会運営委員会 ・全員協議会
11日	12月	・議会運営委員会 （議案審議・閉会） ・広報編集特別委員会 ・第10回定例会本会議

常任委員会の活動



▲総務文教常任委員会所管事務調査の様子

調査内容

1. 飯館駐在所の川尻班長から、村内の犯罪状況について、住
2. 産業厚生常任委員会
3. 総務文教常任委員会
4. 第10回定期会本会議（開会）

1. 農業振興に係る現状と課題について

調査内容

1. 飯館駐在所の川尻班長から、村内の犯罪状況について、住
2. 産業厚生常任委員会
3. 総務文教常任委員会
4. 第10回定期会本会議（開会）

1. 農業振興に係る現状と課題について

総務文教常任委員会 所管事務調査

令和2年11月10日に飯館村役場第2委員会室において防犯及び防災対策について所管事務調査を行いました。

- ①駐在所との連携を密にする必要があります。
- ②犯罪が多い地区については情報を区長にも知らせるべき。
- ③村内に設置してある防犯カメラも犯罪の抑止力になるため、

- ①駐在所との連携を密にする必要があります。
- ②消防等関係機関と連携をとつてほしい。

産業厚生常任委員会 所管事務調査

令和2年11月11日、飯館村役場議員控室において、産業振興課長から農業振興に係る現状と課題について、農地中間管理事業の進捗状況について聞き取り調査を行いました。

- ①除染後の農地に係る用排水路の整備や圃場整備と大型機械化に向けた基盤整備が必要である。
- ②農業の担い手不足が課題であり、魅力ある農業の展開が不可欠である。
- ③将来、バイオマス発電施設から出る熱利用による新たな農業の展開もある。

所見

當農再開状況は、米128.9ha・花卉3.7ha・牛402頭・養鶏12万羽・野菜4.4ha・そば60.5ha他

2、中間管理事業の進捗状況について

令和元年度に上飯桶地区で115haを集積。今年度は、関根・松塚地区が着手し、令和3年度は7地区、令和5年末までに19地区、928.2haを着手予定。

2、防災対策について

①昨年の台風19号の被害の状況を反映させた防災計画にするべき。
②避難所について、再検討が必要な箇所もある。

2、防災対策について

①昨年の台風19号の被害の状況を反映させた防災計画にするべき。
②避難所について、再検討が必要な箇所もある。

編集後記

昨年から感染が確認された新型コロナウイルスの感染は、猛威を振るい大都市では非常事態宣言が発令され、県内でも不要不急の外出自粛の要請が出されています。令和3年が、始まりました。村民の皆さん、共に「世界」の「日本」の「飯館村」の未来の為に、皆でこの事態を乗り越えましょう。